

財 政 事 情

『滋賀県基本構想～未来を拓く 8 つの扉～』の実現に向けて



平成 23 年 (2011 年) 5 月

滋 賀 県

滋賀県の姿

(内の順位は、全都道府県中数値の大きい方からの順位です。)

総面積 4,017.36 km² **38位**

(うち琵琶湖の面積 670.25 km²)

*H22.10.1 国土地理院

(滋賀県の総面積は総務省自治行政局「全国市町村要覧」)



市町数 13市6町 (H22.3.21～)

人口 1,410,272 人 (H22.10.1 現在)

28位

増加率 2.17 % (対H17.10.1 現在)

5位

世帯数 517,236 世帯 (H22.10.1 現在)

30位

増加率 7.93 % (対H17.10.1 現在)

3位

1世帯あたり人員 2.73 人 (H22.10.1 現在)

(2.88 人 (H17.10.1 現在))

*人口、世帯数は総務省統計局「国勢調査(人口速報集計)」

平成23年4月1日現在 (滋賀県統計課)

人口: 1,404,114 人、世帯数: 539,141 世帯

県民所得 298.4 万円 (県民1人当たり)

6位

*内閣府「平成20年度県民経済計算年報」

実質経済成長率 3.5 % (県内総生産(生産側)実質:連鎖方式)

37位

*内閣府「平成20年度県民経済計算年報」

県内総生産における第2次産業の占める割合 41.8 %

1位

*内閣府「平成20年度県民経済計算年報」

表紙の写真

石場津の常夜燈 (大津市中央四丁目)

江戸時代に東海道の宿場町として賑わった大津町の東の外れの琵琶湖岸に設置された船着場が石場です。江戸時代には東海道の間道として利用された対岸の栗太郡矢橋村(現在の草津市矢橋町)との間の渡し船で賑わった船着場でした。

弘化2年(1845年)、石場の船着場(現在の大津警察署付近)に建立されたのが、この石場津の常夜燈です。現在は、なぎさ公園内に移設されていますが、江戸時代に盛んであった湖上交通を偲ぶことができます。